

文京区青少年プラザ (b-lab) の運営について

1 施設概要

- (1) 場 所 文京区湯島 4-7-10
 (2) 開館日 通年開館 (年末年始を除く)
 (3) 開館時間 午前9時から午後9時まで (中学生の利用は午後8時まで)
 (4) 利用対象 主に区内在住・在学の中学生及び高校生
 (5) 設置施設

施設名	面積	主な仕様・利用想定
中高生談話スペース	145 m ²	談話、読書、自習、工作、調理、PC貸出等
ホール	142 m ²	ダンス、演劇、合唱等
音楽スタジオA	36 m ²	楽器演奏 (グループ)
音楽スタジオB	12 m ²	楽器演奏 (個人)
プレイヤード	205 m ²	屋外での軽運動

2 利用実績 (令和元年度4月~12月分)

(1) 新規登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
中学生	146	79	33	92	87	54	89	55	53	688
高校生	141	67	102	114	92	60	68	53	49	744
合計	287	146	135	206	179	114	157	108	102	1,432

(2) 来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
中学生	931	762	630	837	824	621	939	691	564	6,799
高校生	1,425	1,075	1,191	1,598	1,864	1,489	1,116	1,054	1,377	12,189
合計	2,356	1,837	1,821	2,435	2,688	2,110	2,055	1,745	1,941	18,988

※参考 過去3年分の新規登録者・来館者数

年度	新規登録者数	来館者数	中高生別来館者数
H30	2,170	27,934	中学生 12,111 高校生 15,823
H29	2,305	26,826	中学生 13,694 高校生 13,132
H28	2,913	27,618	中学生 14,175 高校生 13,443

3 中高生スタッフ

運営に主体的に関わる利用者が「中高生スタッフ」として、各種事業や運営に参画している。
 また、各学期に合わせて活動期間を設定している。

今年度の活動	人数
15期(4~8月)	31名
16期(9~12月)	38名
17期(1~3月)	



4 実施事業

(1) 定期講座

- ア 自習応援！マナビ場 (第1～3・5 木曜日)
- イ book club (第4 木曜日)
- ウ 探究アソビ場 (毎週土曜日)
- エ b-sports (第2 日曜日)
- オ b-lab 音楽講座 (第3 日曜日)
- カ 先輩と語る座談会！カタリ場 (第4 日曜日)



▲book clubの様子

(2) フェス事業

年3回(夏・冬・春)、主にライブやダンス発表等を開催。

中高生スタッフが各期の活動の集大成として、事業の企画・運営を行う。

- ア 夏フェス(令和元年8月24～25日実施)
- イ 冬フェス(令和元年12月21～22日実施)
- ウ 春フェス(令和2年3月実施予定)



▲今年度の夏フェスの様子

(3) その他

- ア 中高生の自主企画事業
令和元年度4月～12月実施数：25事業

イ 地域団体等連携事業

<連携事例>

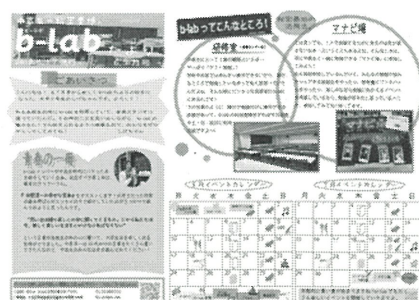
「地域こどもプラザ」(湯島青少年健全育成会主催)

「コミュニティプラザ」(文京区青少年委員会主催)

5 広報活動

(1) WEB媒体での広報

- ア WEBサイト(<http://b-lab.tokyo/>)
- イ Twitter (@blab_tokyo)
- ウ LINE@
- エ Instagram



▲b-lab たより

(2) 紙媒体での広報

- ア 広報誌「Bunkyo teens magazine Cha!Cha!Cha!」
- イ b-lab たより(生徒向け)
- ウ b-lab 通信(教員向け)

6 出張 b-lab

区立中学校を対象とした出張授業を実施。b-lab 運営委託事業者の認定NPO法人カタリバによるキャリア学習プログラム「カタリ場」を行い、大学生スタッフと生徒の対話を軸に、進路意識の向上や将来への希望・意欲の創出を図っている。

また、動画・スライドを用いたb-labの施設・事業紹介を行い、中高生が気軽に大人と話せる場、「やってみたい」ができる場としての利用を促している。



▲出張 b-lab の様子

7 今後について

(1) 新規来館の増加

開館から5年を経て、来館者数は堅調に記録しているものの、新規登録者数に減少が見られる。また、中高生の来館割合を分析すると、中学生の頃から来館を続けている常連の高校生層の来館が増えている一方で、中学生の利用割合が減少している。今後は更なる利用促進を図るため、中学生や将来的な来館者である小学生へのアプローチを進める。また、地域バランスを考慮した活動の場の拡充も検討する。

(2) 中高生の自主的な活動の支援

多種多様化する中高生の興味・関心に対応するため、多種多様なテーマの事業を企画・運営する。中でも中高生に興味のあるゲーム等のツールを活用した交流イベントを検討し、多くの中高生利用者が事業の企画・運営に参画しやすい環境をつくる。施設面では、利用者アンケート等の結果を踏まえ、ニーズの高まっているWi-fi環境の整備を進める。

(3) 地域団体・関係機関との連携

中高生がb-lab以外で社会とかかわりを持てるよう、青少年健全育成会をはじめとする地域団体や関係機関との連携を深められる環境整備について検討する。近隣である湯島地区を主とした地域連携に加えて、他地区での連携事例ができるよう、情報収集や関係団体との繋がりを深めていく。

主要課題	No. 13	青少年の健全育成と自主的な活動の支援
-------------	--------	---------------------------

●現状●

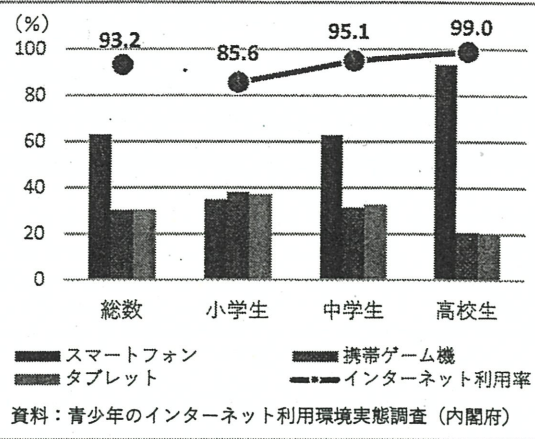
- 区では、地域の人たちとの交流の中で青少年の自立を促し、社会性を育てていくため、青少年が主体的に社会参加を図ることができる、青少年健全育成会やNPO等の活動や事業を支援しています。
- 青少年健全育成会やNPO等、地域の中で活動する団体により、青少年が社会参加・社会参画できる機会が提供されている一方で、実際に地域団体等の事業へ参画する青少年の数は伸び悩んでいます。
- スマートフォンや携帯ゲーム機等を用いたインターネットによるコミュニケーションが常態化するなど、青少年を取り巻く情報環境は時代とともに変化しています。
- 平成27年に、中高生の自立性・社会性の成長を応援することを目的として、“中高生の秘密基地”をコンセプトとした「b-lab（青少年プラザ）」を開設し、中高生自らがイベントの企画やb-labの運営に携わっています。b-labの利用者数及び利用者満足度は、年々増加しています。

●関連する主な計画等●

- ・ 文京区子育て支援計画
(平成27年度～平成31年度)

●関連データ●

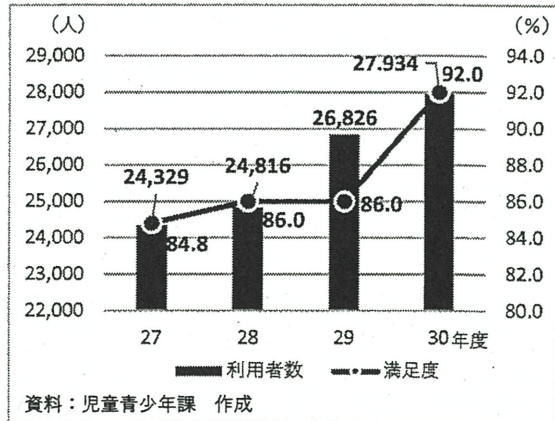
① 青少年（10～17歳）のインターネット利用状況（30年度）



全体の93.2%が、何らかの媒体を用いてインターネットを利用しています。また、インターネットを利用する機器は、スマートフォンや携帯ゲーム機が上位となっています。

② b-lab（青少年プラザ）の利用者数

及び利用者満足度



b-lab（青少年プラザ）の利用者数及び満足度は増加傾向にあり、利用者アンケートで「満足している」と回答した割合は、平成30年度には92%となっています。

●課題解決に向けて取り組むべきこと●

- ・ 青少年の社会参画を促すため、多くの青少年に利用されているコミュニケーション媒体を活用した地域交流イベントの実施や、利用者数が年々増加している青少年プラザと地域団体との連携など、社会参画のきっかけ作りとなる取組が必要です。
- ・ 青少年の自主的な活動の起点となる環境の更なる整備が必要とされています。

● 4年後の目指す姿 ●

青少年が、地域の大人や子どもたちとの関わりや、自主的な活動の体験・経験などを通して、自主性や社会性を身につけ、自立した大人へ成長できる環境が整備されている。

● 計画期間の方向性 ●

○ 青少年の社会参画を促す機会の提供

青少年健全育成会などの地域団体の活動を支援し、青少年が、家庭や学校だけでは経験することが難しい社会体験・社会参画の機会の充実に取り組みます。

○ 中高生世代の自主的な活動を応援する環境整備

オープンから5年が経過した青少年プラザ（b-lab）について、施設の利用促進に向けた更なる周知や、青少年健全育成会等との連携事業を推進するとともに、中高生世代の自主的な活動を応援する場の拡充について検討していきます。

● 手段（当初事業計画） ●

計画事業（所管課）	年次計画				事業費
	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	
青少年健全育成会活動支援 [児童青少年課]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年健全育成事業への補助・九地区合同行事・機関紙 ・ 中高生の参画イベント 				
青少年の社会参加推進事業 [児童青少年課]	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO等が実施する事業への補助 (青少年の社会参加を推進する事業・青年育成事業) 				
青少年プラザ（b-lab）運営事業 [児童青少年課]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生世代の自主的な活動・交流の場 (文化・スポーツ・学習支援事業等) ・ 中高生スタッフの企画・運営事業 (「夏・冬・春フェス」・広報誌の発行等) ・ 各種講座 (中高生が興味のある分野・自習支援・キャリア学習講座) <p>● 小学校での出張b-lab</p> <p>地域バランスを考慮し、活動の場の拡充を検討</p>				